

3年進路オリエンテーション

1. 目的 外部講師から勉強に対するモチベーションの上げ方や最新の入試動向について聞くことで、生徒たちの受験勉強に対する意欲を喚起する。
2. 日時 令和2年6月19日(金) 7限目
3. 場所 第1体育館
4. 講師 次橋 秀樹氏(進学アドバイザー)
5. 演題 「大学入試に向けて ～第一志望を貫くために～」
6. 内容

その1 学ぶ意義について

 - ・勉強そのものが楽しいから
 - ・運動すると体の動きがよくなるように、勉強して頭を使うと賢くなるから
 - ・進路を決める「入試」に関しては、評価がとても分かりやすく公平だから
 - ・ ??? 誰のために、何のために学ぶのだろうか

その2 勉強のやり方について

 - ・恐れず、嫌がらず、自分と目標の差をリアルに意識することで目標は近づきます。

常に自己ベストとその更新を意識すること。

 - ・眠くなりがちなのは、一定の生活リズムを毎日維持すること+朝ご飯を必ず食べること。
 - ・何事にも段取りは必要です。段取りのためには、情報はすぐにも必要。

段取りをたてて動けるようになると、この先、絶対得をします。

 - ・何が必要かという「受験までの地図」とその中での自分の位置がイメージできるようにしておくこと。

- ・模試は苦手発見や目標までの距離を測るために活用する道具。諦めの言い訳ツールではない。

その3 受験勉強で大切なこと

- ・自分の学力の伸びの「パターン」を知ることでコツコツがんばれる。
- ・現役生は最後まで伸び続ける。倍率に怯まない、後期があれば受験する。あきらめない。



生徒の感想

- ① 受験に対しての戦略的な挑み方を知ることができ、とても参考になりました。今までは、何となく自分がやりたい勉強をしてきましたが、これからは数字できちんと目標までの距離を測り、その差を少しずつ埋めながら努力していくことの大切さを感じました。しかし、数字ばかりを追いかけていると、学ぶことの楽しさを忘れてしまいそうなので、そのあたりのバランスもしっかりとれるようにしていきたいです。
- ② 今日の講演は、すごく私の意識そのものを変えてくれた気がします。まず、私は国語が得意ではありませんが、自分がどう思うかは置いておいて、他人がどう考えるか、その問題が求めているものは何なのかという視点が必要なのだと、新たな気づきが得られました。そして、私の心に一番に突き刺さったのは、「数字をみろ」ということでした。正直、今まで悪い成績から目を背けてきたところがありましたが、自分を正確に表してくれる数字というものを見て、目標と比べるという過程がすごく必要だと感じました。
- ③ 他人の意見を素直に受け入れてみるのが、入試に良い影響を与えることがわかりました。先生方に謙虚な気持ちで積極的に質問をする、具体的な数字で目標との距離を測り少しずつ埋めていく、そのためにテストや模試をしっかり振り返って復習をする、部活動の辛い経験が受験勉強に活きるというのは、とても共感できました。今まで自分が乗り越えてきたことを自信にして、受験を乗り越えていこうと思います。